

## 小規模企業景気動向調査(10月期)における商工会経営指導員の主なコメント

\*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

### 1. 景気全般

#### <改善傾向を示すコメント>

・依然として観光を中心に入り込み客が増加しているため、台風等の影響による一時的な落ち込みはあるものの、観光事業に関わる事業所を中心に年々增收傾向にある。金融機関の貸出態度には変化は見られないが、積極的な貸出とは言えない。

(鹿児島県あまみ商工会)

・秋のイベントや行楽のシーズンということもあってか、年間各月で比較すると、現在は春の祭時期の次に全体に経済が順調に回る時期である

(岐阜県古川町商工会)

・金融機関によると、当地域の資金需要は高くはないが、消費税増税が明確化したことにより、今まで我慢していた設備の更新等の話が少しててきた感があるとのこと。

(石川県宝達志水町商工会)

・紅葉で毎年観光客の入込も多い月のため、小売業、宿泊、飲食業などは、繁忙期対応をしてる。金融機関の貸出については、特に問題はない。

(岐阜県高山西商工会)

・本年11月に着工する火力発電所建設工事関係者の入込が始まっており、本会三隅地区を中心に、建設業・建設資材販売業・食料品小売業・燃料小売業等において需要獲得に向けた動きが活発になっている。一部ではあるが、受注獲得した事業者もある。

(島根県石央商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

・9月下旬に噴火警戒レベル引下げにより通行止めが解除された志賀草津高原ルートだったが、わずか1週間後にレベル引上げで再び通行止め。紅葉シーズンの集客の大打撃となっている。

(長野県山ノ内町商工会)

・養殖業者の運転資金の問題が表面化しており、ホタテの貝毒などによる出荷制限が地元産業を圧迫している。

(宮城県本吉唐桑商工会)

・西日本豪雨災害から、各事業所ほぼ復旧され営業を再開し始めている。廃業されたところも数店あり、商店街は少し寂しい状態になっている。仮営業はしていても、店舗の修善はこれからという事業所もある。被災されてなくとも、客数減少、売上減少的な間接被害が見受けられる。

(愛媛県吉田三間商工会)

・連休の週末に台風の直撃があり観光客の入込に影響があった。観光関連産業の売上が前年比マイナスとなった。24号による建物への被害や作物への塩害被害もある。

(鹿児島県屋久島町商工会)

・9月30日から10月1日掛けての台風24号の影響が全般的に出てる。建物被害や長引いた停電により、それぞれの業種で違った影響がでた。

(静岡県菊川市商工会)

・天候不順も有ったが水稻の価格も落込み無く、消費活動は例年並み。原油の高騰が続いているため配達経費が採算性の悪化に影響している。

(福島県矢吹町商工会)

### 2. 製造業

#### <改善傾向を示すコメント>

・レジ用の刃物カッターのメーカーは、消費税が改正し、補助金の申請があるため、受注が増えている

(香川県三豊市商工会)

・自動車関連部品製造業では、ハイブリット車部品の受注量が増加し、繁忙の状態であるが人員不足による労働者への過負担が出ている。

(長野県根羽村商工会)

・機械製造業では補助金事業にて最先端の機械を導入し売上を伸ばしている事業所もある。

繊維製造業では展示会出展により取引先増加、それに対応する生産体制も補助金事業にて最先端の機械を導入し整い、今後の売上増加が期待できる事業所もある。

(香川県高松市中央商工会)

・食料品関連の製造業は、取引先が年始の需要に伴い、生産量をアップしていると思われるため忙しかった。燃料価格高騰の影響はあまりなし。

繊維工業関連の製造業は、11月からフレッシュシーズの生産で忙しくなる。11月から3月が1年で最も売れる時期である。

機械・金属関連の製造業は、地元の学校と高速道路関係の工事の仕事が続いているため、全体的に好転している。自社製品の受注も着実に増加している。

(岡山県作州津山商工会)

・衣料品製造業は、秋・冬物の売れ行きが厳しいながらも、10月から来年の夏物の製造に入り、強気に昨年並みの製造計画を立てている。

(宮崎県高千穂町商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

- ・水産加工業関連の製造業は、依然地元の漁業者の不漁により、材料不足が続いている。県外から取り寄せているものもある。

(和歌山県串本町商工会)

- ・電気機械、生産用機械など、ほとんどの製造業種で前年度を上回るなど好調となつたが、原油価格上昇や米国の鉄鋼・アルミ等への関税引上などで利益面では下押し作用となるなど海外情勢の影響が出ているところも多い。今後の原材料のさらなる高騰に不安を持っている

(兵庫県川西市商工会)

- ・食料品関連の製造業については、石油製品の値上がりの影響から仕入れ価格と経費の上昇につながり、利益を圧迫している状況である。

(岐阜県本巣市商工会)

- ・洋菓子製造の店舗では、震災や農家の減少により乳製品の購入規制がかかり、輸入品依存になりつつあるため、それが仕入原価の上昇につながっている。

(静岡県静岡市清水商工会)

### 3. 建設業

#### <改善傾向を示すコメント>

- ・年末の納期〆へ向けた追い込み時期が始まる前ということがあり、年間で一番忙しい時期である。昨年よりも受注の特定企業への集中がすすんでおり一人親方は下請けでの仕事が増えている。  
下請の場合、その人工賃は「売上」に計上されるが、人工賃には消費税を上乗せしないという変な風潮があるらしい。現在8%の消費税も利益から支払っている状況で、これが10%の消費税になった場合、益々の利益の圧迫が進むと予想される。人工賃への正当な消費税加算を建設業協会や商工会からも呼びかけてほしいとのこと。

(岐阜県古川町商工会)

- ・年末時期を迎えるにあたり、公共工事を受注している業者は忙しくなってきてているように伺える。

(茨城県坂東市商工会)

- ・土木関連の建設業は秋口から公共事業が好調に転じ、収益を上げている、建築関連は雪が降る前の追い込みで受注はあるが、収益につながっているかどうかは時間をおいてみるとわからない。

(新潟県小国町商工会)

- ・県内の状況が厳しいため県外の仕事を積極的に獲得している。

(山梨県昭和町商工会)

- ・災害復旧のための仕事が官民多く発注されており、稼働率が高くなっている。

(鹿児島県あまみ商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

- ・建設重機の修理業関連の建設業は、近年建機のIT化が進んでおり、軽微な修理以外は立ち入れない領域となっており、厳しさが増している。

(兵庫県太子町商工会)

- ・災害復旧関係の仕事が多く、受注状況も良いが、キャパを超えており、逆にチャンスロストとなっている。よって、近隣市町よりの業者の流入が見受けられる。

(愛媛県吉田三間商工会)

- ・状況は良いが、消費税増税前後の関係を心配するようになっている。

(栃木県にのみや商工会)

- ・建築関連では今月に入り改修・増築の需要が急伸しており、全体としては活況であるが消費税率の引き上げ前の駆け込み需要ではないかと心配する意見が多い。また、人手不足も深刻で顧客を長期間待たせてしまっている状況を改善できず、一部の消費者からは不満の声も出始めている。

(千葉県南房総市内房商工会)

- ・土木関連は災害復旧工事で手一杯であり、人的に余裕がない状態である。まだ、入札物件も数十本工事を残しており工期延長が見込めないと各業者とも無理である。冬に向かい除雪対応もあり、ますます人手が不足していく。

(京都府京丹後市商工会)

- ・業況は順調に推移し売上資金繰りとも好転しているものの、慢性化する人手不足により受注段階で断っている。対策として設備投資を進めているが、重機メーカーの生産も遅れており、納期に1年かかるものがある。

(秋田県由利本荘市商工会)

- ・建設業界全体に人手不足感が強い。自社で若手従業員を育成しても、すぐに他社に転職する恐れがあり、積極的な募集を躊躇することもある模様。

(静岡県富士市商工会)

### 4. 小売業

#### <改善傾向を示すコメント>

- ・衣料関連の小売業は例年より気温が低い日が多かったため、冬物の出足は良い状況になっている。

(滋賀県大津北商工会)

- ・季節の変わり目もあり、食料品・衣料品の景気が良い。

(宮崎県佐土原町商工会)

- ・行楽シーズンでの特需にスーパーやコンビニなどでは飲料品や惣菜などの売上が増加していることから、引き続き来月への期待感が増大している。依然として百貨店は苦戦を強いられている。ドラッグストアでは、化粧品や日用品のほか、食料品などの売上が好調で前年を上回る売上となったところが多い。

(兵庫県川西市商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

・平成31年10月の消費税率10%UPで景気悪化が心配。軽減税率が良くわからない。

(宮城県遠田商工会)

・引き続きガソリンスタンドなどの石油類取り扱いがある事業者に関しては原油価格の高騰のおりを受け仕入れ価格が急騰しており、採算の悪化が続いている

(福岡県香春町商工会)

・台風等によるイベントの中止や法事等の予約キャンセルが相次ぎ、飲食業等は売上が大きく落ち込んでいる事業者がいる。

(徳島県東みよし町商工会)

・食料品小売業では特産品の桜えびが不漁という報道の影響もあり、顧客の動きが少なく、予約や問い合わせ数が減少した。

(静岡県静岡市清水商工会)

・食料品の小売業(米)は、不作により、集荷量が減少している。

また、農業機械の高性能高価格化が経営に影響しており、支払いが後回しになるケースが出てきている他、離農も進んでいる状況である。

(秋田県かづの商工会)

・小売では、運送費用の上昇、自然災害、人手不足などを受けて、食品が高値推移。地域社会の高齢者も地域の消費減退に影響。食品小売業では、調理済食品の価格を上げる例も現れている。また、レジ袋有料化も進行。

(静岡県富士市商工会)

#### 5. サービス業

##### <改善傾向を示すコメント>

・保険関連のサービス業はここ数年自然災害が我々の地域でも多いので新規や保険金額の増額契約が増加して

(滋賀県大津北商工会)

・夏場は天候不順により観光関連施設及び宿泊業の客足は昨年より落ち込んでいたが、当月は前年を上回るまでに回復した。

(三重県みえ熊野古道商工会)

・飲食関係のサービス業については、新規で開業される方も多く、創業の相談も多い。一方で、長年地元で営業されている高齢の事業主も多く、事業承継の準備が急務である。

(岐阜県本巣市商工会)

・理美容関係のサービス業は、新規顧客の獲得の為、新サービスを提供するために、設備投資を行っている。

(石川県川北町商工会)

##### <悪化傾向を示すコメント>

・旅館業より顧客が自然災害等の影響から外出(旅行)を控えていると感じるとの声あり。

(富山県庄川町商工会)

・村内来客数は例年通り多くお見えになるが、日帰りで帰られるお客様が多く、宿泊及び飲食店の売り上げに繋げられず、一部の大型宿泊施設を除き年々売上が減少している。

(福島県北塩原村商工会)

・理容業は替え刃やシャンプーなど仕入れ値が上昇している。

(山口県岩国西商工会)

・飲食関連のサービス業は、交流人口の減少により、売上が減少している。また、地区内の宴会等の利用客も減少傾向である。

(長崎県松浦市福鷹商工会)